

	<p>学校だより</p> <h1>おやまがおか</h1> <p>～全ては、子どもたちの笑顔のために！～</p>	<p>町田市立小山ヶ丘小学校 校長 大川 優 2026（令和8）年 1月30日 発行 第285号</p>
<p>〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目37番 電話 042-770-6251 FAX 042-770-6258</p>		

家族と過ごす時間

副校長 向井 俊哉

もうすぐ暦の上では春となる「立春」を迎えますが、まだまだ余寒厳しい日が続いています。しかし、校庭の木々の芽は少しずつ膨らみ始め、確実に春が近づいていることを教えてくれます。さて、2月は「逃げる」と言われるように、あっという間に過ぎてしまう月でもあります。今の学年での生活も残りわずかとなりました。子どもたちには、今のクラスの仲間との時間を大切にしつつ、次の学年へ進むための「心の準備」と「学習のまとめ」をしっかりと行えるよう指導していきます。

突然ですが、皆様は1日または1週間に家族（複数または全員）と過ごす時間はどれくらいですか？うちは4人家族+猫+亀です。長女が高校生、長男が中学生ですが、成長とともに過ごす時間は順調？に少なくなってきています。子どもが小学生の頃までは、毎年、GW、夏、冬のいずれか、また全てに旅行を計画し、（温泉が好きなので、温泉地の近くが多いのですが）様々な場所に行きました。「大きくなったらみんなで行くのも難しくなるだろうし…」というのもありました。新潟に行って自然のホテルを捕まえ、3歳の娘に「とっと、しゅっごーい！」と言われ、帰りの宿の送迎バスの中で、夢中になってトイレに行くのを忘れていたのか、おもらしをされたのも今となってはいい思い出です。

中学生にもなると部活動が始まったり、友達の範囲が広がったりして、また、高校生ではさらにいろいろな地域から友達が集まるので行動範囲が広がり、場合によってはアルバイトなどを始めたりして…。物理的に家族と過ごす時間は少なくなってきます。

ただ、一緒に過ごす時間が長ければいいというわけではありません。こちらが話しかけても「うん」しか反応がなく、一緒にいるのに会話が無く、それぞれが携帯電話の画面をのぞきながらピコピコと…。その状態を揶揄して家では、ピコ1、ピコ2などと呼んで、さらに孤独を助長していますが…。

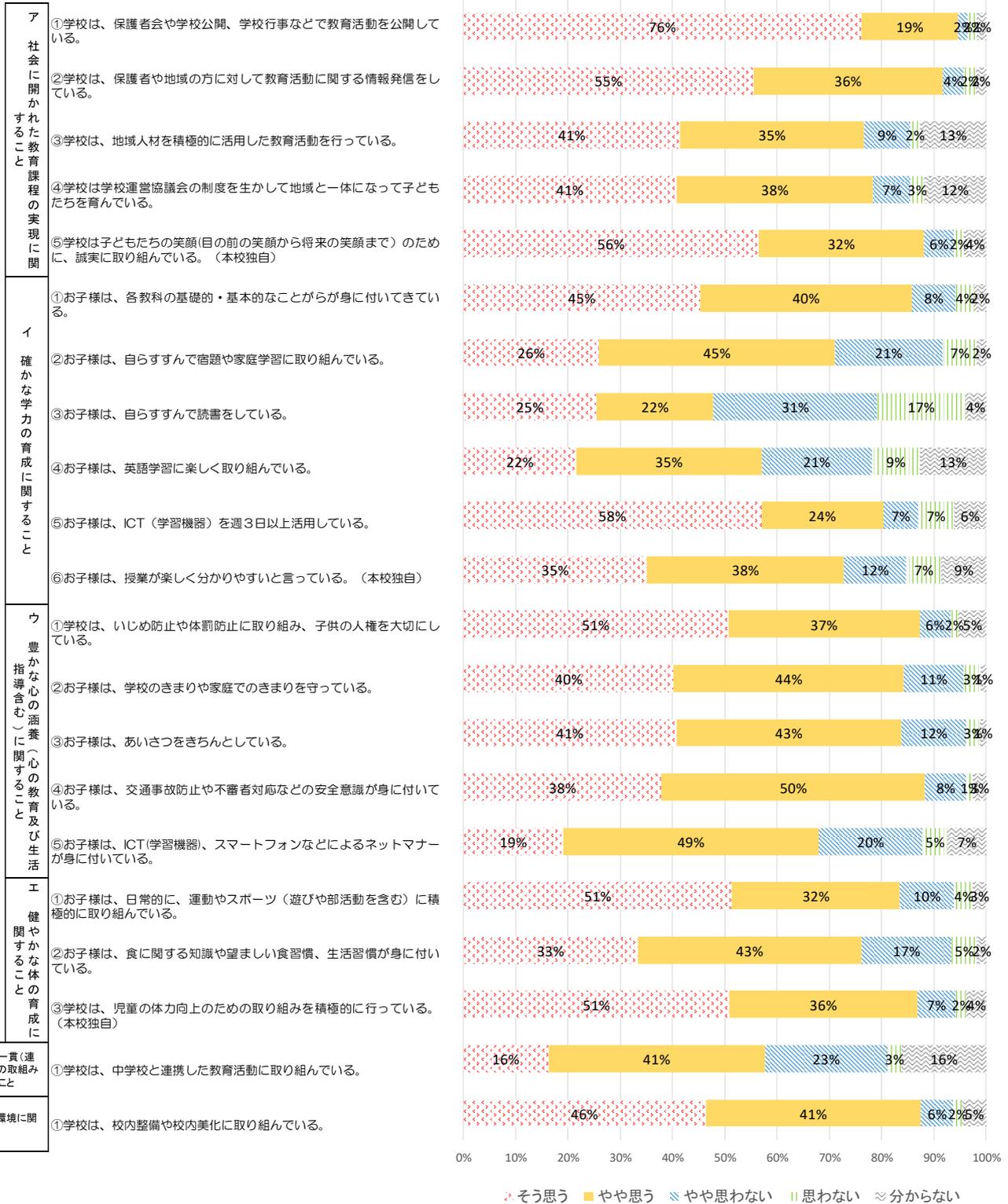
子どもの興味や関心、優先度も友達に重点やベクトルを向けるのは成長の証であり、自分自身の中・高生を振り返ってみても親と一緒にいるよりも、友達と冒険心をもって過ごしたことに楽しさを感じていました。成長はうれしいけれどもさみしい気持ちになるものですね。愚痴のように書いてきましたが、別に仲が悪いわけではありません。年末も塩原温泉に娘、息子と3人で行き、（猫が発熱。看病のため妻は留守番）今年のGWも旅行の計画をしています。

保護者の皆様は現在、どれくらいの時間をお子さんと過ごされていますか？他人と比べるものではないですが、子どもが成長すればするほど過ごす時間や会話は少なくなってきます。家族で過ごす際に学校での様子、友達とのこと、習い事、趣味の話など、意識的に話題にしてみてもどうでしょうか？

家族と表情や声のトーン、動作化などを交えて話をしていないと、直接発信したり受け取ったりすることが照れ臭かったり、自信が無くなったりしてアウトプット、インプットの仕方に違和感が出てしまうかもしれません。今や各交通機関、街中でも総ピコピコ星人だらけ。せめて学校や家族の中では、人と人との直接的なコミュニケーションを図る機会を大切にしたいと願っています。

2025年度 学校評価保護者アンケート 結果と考察(回答数393 回答率62.1%)

全 21項目中、ア-⑤、イ-⑥、エ-③は本校の独自の項目であり、残り 18 項目は市内共通項目となっております。



【 考察 】

◇…良い点 ◆…改善すべき点

「ア 社会に開かれた教育活動に関すること」について

◇①～⑤の各項目においても「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な回答が76%から95%でした。昨年度と比較して「どちらかといえばそう思う」の割合が減り、「そう思う」の割合が増えています。特に①②では90%の方に肯定的な回答をいただき、公開や情報発信に対してご理解をいただけている様子が伺えます。ホームページやtetoruの活用も効果的であったかと思えます。

◆一方、③④の項目で「分からない」という回答が12～13%となっているので、引き続き地域連携についての情報発信を、学校運営協議会、ボランティアコーディネーターの皆様と協力し、学校だよりやホームページで充実させてまいります。

「イ 確かな学力の育成に関すること」について

◇①②⑤⑥において、肯定的な回答が71%～85%でした。中でも「⑦お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。」の設問では、85%という高い評価をいただきました。また、⑤「お子様は、ICT(学習機器)週3回以上活用している。」の設問では82%という高い数値を示しており、ご家庭での学習ドリル(キュビナ)の実施授業や調べ学習におけるChromebookの活用が充実してきていると考えます。

◆「③お子様は自らすすんで読書をしている。」の設問では、肯定的な回答が47%と他の設問より低くなっております。デジタル化が進み、活字に触れる機会が減っている影響もあるのでしょうか。学校において子どもたちは積極的に読書活動に親しんでおり、町田市内の小学校で貸し出し冊数が第1位という報告も受けています。引き続き、朝読書や隙間の時間の読書活動を継続していくとともに、従来の保護者のボランティアによる「お話会」や、読書週間での取組を充実いたします。また、ご家庭でも読書を話題に取り上げていただく等、ご協力いただくと有難いです。

「ウ 豊かな心の寛容に関すること」について

◇①～④の項目において、肯定的な回答が84%～88%でした。中でも「①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組む、子どもの人権を大切にしている。」「④お子様は交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている」設問では、88%という高い評価をいただきました。これからも月1回の心のアンケートの実施とそれに伴う確認の徹底や指導、全校道徳の継続実施、家庭との連携を密にしていくための情報発信などを充実いたします。また、月1回の避難訓練や安全指導、地域の方や保護者の方の登下校の見守りに関して、安全意識への高まりがあったものと考えます。

◆「⑤お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。」の設問では、肯定的な回答が68%と他の設問より低い結果でした。子どもたちは様々な場面でインターネットに触れる環境で生活しています。本校では、ネットマナーの基本は「自分がされて嫌なことは相手にしない。」ことだと、各学級で繰り返し指導しております。引き続き、普段の学級指導で良好な友達との関わりについて指導するとともに、ICTの特性に応じた指導を学校や地域、専門機関と連携して行っていきます。なお、SNSの利用については、「規約」や「利用制限・推奨年齢」「保護者の許可・管理」など、小学生が使用するには、多くの制限があります。利用させるのであれば、それらをご確認いただき、引き続き、ご家庭の管理(許可を含め)の徹底をお願いいたします。

「エ 健やかな体の育成に関すること」について

◇「①お子様は、日常的に、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。」の設問では、肯定的な回答が82%と昨年度より2ポイント向上しました。昨年度・本年度と、体育の授業研究を行うことでどの児童も運動の楽しさを味わうことができる授業づくりの推進、マラソンや長縄跳び旬間、ガオ陸などの学校や学年での取組、校庭内でのボール投げの設置などを一層充実していくことで、意欲的に運動に取り組もうとする児童を育ててまいります。また、三ツ目山の冒険遊び場や「がおまち」の利用を推奨し、放課後の自然活動や運動する機会をさらに増やせるようにいたします。

◆「②お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。」の設問では、昨年度と比較し、肯定的な回答の「そう思う」の割合が5%増加したものの、「どちらかといえばそう思う」の割合が8ポイント減少しました。今後は、保健の授業や給食指導を充実させるとともに、栄養士による栄養、給食指導の様子発信、また給食試食会の実施などを検討してまいります。

「オ 小中一貫(連携)教育の具体的な取組」について

◇「①学校は、小・中学校の教員が互いの授業を見て情報交換したり、中学生が小学生に対して部活動教室や学校説明会を実施したりするなど、堺中学校と連携した教育活動に取り組んでいる。」の設問では、肯定的な回答が57%と昨年度に比べ4ポイント高まりました。昨年度は本校に相原小学校、堺中学校の教職員を招いて授業公開をしましたが、今年度は相原小学校に授業参観(学校だより 7月号 3ページ目参照)、堺中学校に研究発表ということで3校による教職員の連携を深めることができました。児童が中学校への期待をもち、不安なく進学できるようにいたします。また、保護者の皆様に、それらの活動の様子をより分かりやすくお伝えしてまいります。

「カ 校内環境に関すること」について

◇「①学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。」の設問では、昨年に引き続き、肯定的な回答が87%と高い評価をいただきました。日々、子どもたちが一生懸命に清掃活動に取り組んだり、用務主事さんが校内各所の清掃を熱心に行ったりしています。また、きれいになった場所を子どもたちが丁寧に使ってくれていることも嬉しい限りです。引き続き、月に1度の教職員による安全点検などを通じた環境整備などを含めて、安全・安心(清潔)な環境づくりを目指し、学校全体で取り組んでまいります。

「本校独自の設問について」

◇「ア⑤学校は、子どもたちの笑顔のために、誠実に取り組んでいる。」の設問については、肯定的な回答が88%と高い評価をいただいています。この文言は昨年同様に本校の学校経営方針に掲げられている5つの基本的な考え方の1つで、この設問に対してこのような評価をいただいたことを嬉しく思います。引き続き、保護者・地域の期待に応えられるように、教育活動のより一層の充実に努めてまいります。しかし、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「分からない」の回答も12ポイントいただいています。学校での出来事を保護者の皆様に誠実にお伝えできるよう、教職員と更なる共通理解を図ってまいります。

◆「イ⑥お子様は、授業が楽しく分かりやすいと言っている。」の設問では、肯定的な回答が73%で、昨年度と比較し、8ポイント低い結果となりました。この結果を真摯に受け止め、より楽しく分かりやすい授業を行うために、町田市教育プラン24～28に基づき授業改革を進め、教材教具や授業形態の工夫などを行い、「楽しくて分かりやすい」授業づくりに尽力してまいります。

◇「エ③学校は、児童の体力向上のための取組を積極的に行っている。」の設問では、肯定的な回答が87%の高い評価をいただきました。昨年度から重点的に取り組んできた成果を感じていただけたことをありがたく思います。引き続き、児童の体力向上のため、全校で取り組んでまいります。

保護者からのご意見など(アンケートより抜粋)

- ・パソコンで授業や宿題をだすのもいいがもう少し、漢字など書き取る力などをつけるためにも書くことを重視した宿題などを増やしてほしい。あまりにも覚えていない。
- ・クロムブックで宿題をすることに少々疑問を感じています。1年生のうち鉛筆を持つ、書く、覚えるの点からも筆記でおこなっていただきたいと考えます。
- ・ICT教育が重要であることは十分理解できるが、Chromebook に対する依存度が高い。翌日の時間割や簡単なことまですぐに Chrome を開き、確認する癖がついてしまっている。もちろん学校でもご指導いただいておりますが、家庭でも繰り返し注意はしているものの止めることができない。

⇒本校でも「読む」「書く」「話す」「聞く」の基礎的・基本的な力の育成は、特に小学校の初期段階ではとても大切なことであるととらえています。漢字の書き取りや九九など繰り返し練習が必要な学習については、朝やモジュールの時間を中心に各教科の授業の中で実施しています。また、「不易」と「流行」について発達段階をとらえ、バランス良く育んでいけるよう、指導法や時間などを精選し、成果を学校だよりやHPで発信できるようにしてまいります。

- ・小山ヶ丘小はとても良い環境に恵まれていて、それを活かした教育を続けていってほしいと願っています。ただ、地域環境が良いことに安住していて、保護者とのコミュニケーション不足もあるのではないかと思います。なかなか難しい時代ではありますが、保護者を信頼して、良い面だけでなく、学校運営や教室で起こっている問題や課題も保護者と共有してほしいです。

・子どもの改善点や注意すべき行動があったら本人にも親にもはっきりと伝えて欲しい。

⇒これまでも保護者の皆様に信頼し、学校で起こったトラブル等の対応については適宜お伝えをしておりますが、ご指

摘いただいた点をふまえ、できる限り丁寧に連携を密にまいります。

・毎週水曜日が4時間授業、土曜の授業参観の翌月曜日が振替などで授業時間が他の学校に比べて少ないように感じていて少し不安です。

⇒学習指導要領に定められている各教科の標準時数をきちんと確保できています。原則月、火、金の13:20～13:35に実施しているモジュールの時間も授業時数「15分×3回＝45分(1時間授業分)」に入っております。また、他校に比べて授業時数が特段少ないということもありません。ご安心ください。

・トイレが汚くて入りたくないと言っていて、我慢して帰って来ることが多いです。学年集会などもしたようですが、トイレの使い方のマナーを継続して指導していただき、みんなが気持ちよく使えるようにしていただきたいです。

⇒引き続きトイレの使い方のマナーを継続して指導してまいります。また、教員によるトイレチェックを1日2回以上実施し、安心して清潔なトイレ環境を保ってまいります。

「いつも温かく子どもたちを見守ってくださり、ありがとうございます。」

「担任の先生が大好きで、学校が楽しいと毎日通えていることに、安心しております。」

「一人一人をしっかり見て頂いていると感じます。」

「先生の子どもたちを想う気持ちにいつも感謝しています。」

「担任の先生が若いのに、子どもに寄り添い、考えてくださっていて頼もしいし、相談もしやすいです。」

「保護者の負担を減らす方向で頑張ってください、ありがとうございます。子どもは毎日楽しく学校に通っています。」

など、肯定的なご意見を多数いただいております。誠にありがとうございます。認めていただいたことを励みとし、これまで以上に責任と自覚をもち皆様からの期待に応えられるよう、さらに、尽力してまいります。

また、こちらには載せきれませんが、ご指摘いただいた内容は、全て真摯に受け止め、今後の教育活動の充実に努めてまいります。今後ともご理解ご協力よろしくお願いたします。